

国保匝瑳市民病院建替整備基本構想・基本計画の概要

1. 新病院整備の必要性（基本構想 P15）

(1) 施設の老朽化

現病院施設のうち、第1病棟と管理棟などが配置されている建物（2階建：昭和46年築）は、大地震の際には倒壊又は崩壊する危険性があるレベルと診断されています。

また、総合受付・ロビーや外来部門の多くが配置されている建物（一部2階建：昭和48年築）及び第2病棟が配置されている建物（3階建：昭和59年築）なども、老朽化による漏洩箇所不明の雨漏り、冷暖房装置の頻回な停止等により、一部診療業務や患者サービスの提供に支障が出ています。

(2) 医療ニーズへの対応

現病院は施設基準が古く狭隘であるため、現状香取海匝医療圏において不足し、今後とも必要性が高まることが見込まれる回復期の病床（地域包括ケア病床）を整備するための施設基準の取得ができない状況です。

(3) 感染症への対応

新型コロナウイルス感染症に対して感染症外来や専用病床で対応していますが、一般患者との動線が分離できずに院内感染の危険性を有しながらの対応となっています。今後とも発生が予測される新型インフルエンザなどの新興・再興感染症に対応するためには、感染症対策に十分配慮した施設整備が必要です。

2. 新病院に期待される役割（基本構想 P16）

(1) 急性期医療

市民病院として、主に匝瑳市の2次救急医療を継続して担います。市内の医療機関との連携を重視し、紹介患者を中心とした当院の診療機能に応じた手術提供を行います。

(2) 回復期医療

匝瑳市を含む香取海匝医療圏で不足する回復期病床への対応のため、「地域包括ケア病床」を整備し、国保旭中央病院等の地域医療機関と連携し回復期患者の受け入れを行います。

(3) 在宅医療

在宅療養支援病院として、今後も需要の増加が見込まれる在宅医療を強化し、圏内・市内の在宅医療を牽引します。

3. 新病院の病床区分及び病床数（基本計画 P1）

病床区分	病床数
一般病床	35床
地域包括ケア病床	35床
合計	70床

※ 総病床数や病床区分ごとの病床数については、急性期病床の需要が減少していくことや、長期的には人口減少に伴い患者数が減少していくことから、病院の経営面や病床管理面の観点、さらには医療需要の変化に対応するため、開院後においても必要に応じて見直すものとします。

4. 診療科構成（基本計画 P2）

診療科は、現在と同様に12診療科を標榜します。

内科／消化器内科／循環器内科／呼吸器内科／外科／消化器外科／整形外科／ リハビリテーション科／泌尿器科／眼科／皮膚科／耳鼻咽喉科

5. 病棟構成と病室の形態（基本計画 P6）

2病棟体制とし、1病棟当たり35床を基準病床とします。

また、基本的に病室の構成は、ICU、CCUを除き、療養環境の多様化、感染防御の観点から原則個室として、病室を最大限有効活用します。

6. 医療情報システム更新計画（基本計画 P26）

新病院における医療情報システムは、患者サービス向上及び業務の質・効率を向上させることを目的とし、現行のオーダーリングシステムを電子カルテに切り替えることを前提に検討します。

7. 医療機器・什器備品整備計画（基本計画 P28）

現病院で使用している機器・什器備品のうち、新病院においても継続して使用可能な機器・什器備品については移設することを基本とし、新たに導入する医療機器については、その必要性を精査するとともに、導入時期、費用及び調達方法を検証し、費用対効果を十分に踏まえるものとします。

8. 建設整備基本方針（基本計画 P29）

(1) 利用者視点の病院づくり

- ・バリアフリー、ユニバーサルデザインの導入により安全で快適な施設、患者動線に配慮し、わかりやすく、移動しやすい施設を整備します。

- ・自然光や緑を取り入れ、癒しと安らぎが感じられる患者の療養環境に優れた施設、木材を取り入れ、温もりが感じられる施設を整備します。

(2) 機能的で使いやすい病院づくり

- ・諸室の集約化、中央化により効率的な施設、将来的な医療環境の変化やニーズに対応できる自由度の高い構造の施設を整備します。

(3) 災害に強い病院づくり

- ・災害発生時に病院機能を維持できる施設、災害時の診療・救護活動に対応できる施設を整備します。

(4) 周辺環境に配慮した病院づくり

- ・周辺の居住環境や自然環境などに十分配慮した施設、敷地内緑化に努め、緑あふれる施設を整備します。

(5) 地球環境に配慮した病院づくり

- ・地球環境と省エネルギーに配慮した施設を整備します。

9. 建設候補地・建築概要（基本計画 P30、31、32）

- (1) 所在地：匝瑳市八日市場イ、八日市場ロ（八日市場駅南側）
- (2) 敷地面積：約 23,000 m²
- (3) 建築面積：約 3,700 m²（地上3階建て（一部機械室等4階）で想定）
- (4) 延床面積：約 7,800 m²

※ 基本計画 P31 (2) 配置・平面計画と P32 (3) 部門配置及び断面構成の図は、想定イメージ図です。建物の配置やメインの出入り口、各部門の位置などは、今後の設計段階で設計会社から提案を受け、より良い配置や構成を検討していきます。

10. 整備スケジュール（基本計画 P33）

	2024	2025	2026	2027	2028
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
用地交渉・取得	←→		←→		
基本設計	←→				
実施設計		←→			
工事施工			←→		
開院準備					←→
開院					★

11. 概算事業費（基本計画 P36）

（単位：千円）

No.	項目	概要	金額（税込）
1	調査費・用地費等	調査費（地質調査、用地測量）等 用地取得費	315,440
2	建設工事費	本体工事（建築単価 650 千円/m ² ） 外構工事等を含む	5,820,000
3	設計監理費	基本設計・実施設計・監理委託費	270,000
4	各種申請・移転費用等	申請手数料、移転費用等	27,900
5	医療機器等整備費	医療機器、什器備品、情報システム	840,000
6	既存施設解体費		350,000
合 計			7,623,340

12. 財源内訳（基本計画 P36）

(1)	国庫補助金	1,500,000 千円
(2)	県補助金	318,466 千円
(3)	病院事業債	3,674,300 千円
(4)	公営企業施設整理債	350,000 千円
(5)	合併特例債	1,224,700 千円
(6)	一般財源	555,874 千円
	合 計	7,623,340 千円